

平成 29 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

島名：怒和島

協定締結集落名：上怒和集落

基本交付額：5, 176 千円

協定参加世帯数：37 世帯（72 人）

（うち漁業世帯数：37 世帯（72 人））

2 協定締結の経緯

上怒和集落は、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、漁獲量の減少や魚価の低迷等により、漁業経営は、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・サザエ 5,000 個、キジハタ 2,500 尾、ヒラメ 2,000 匹を放流し資源増大を図った。
- ・イカの産卵場整備のため、スギをつけたブロックを投入した（年 2 回）
- ・藻場改善のため、ヒジキブロックを投入した。（年 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 8 回）

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

- ・ハマチ・ニジマス の蓄養を行い、生産力の向上を図った。
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工組み、イベントで販売した。
- ・ヒジキの養殖に取り組み漁家所得の向上を図った。

4 取組の成果

- ・種苗放流や漁場改善、産卵場整備により資源の増大が見込まれる。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少し、漁獲量の増加も見込まれ漁家の収入安定が期待される。
- ・蓄養を行うことで生産力の向上が期待される。
- ・簡易加工した水産物を販売することで漁家所得の向上が図られた。
- ・ヒジキ・ワカメの養殖により、資源の増大が図られた。

種苗放流



産卵場の整備



漁場監視



ヒジキの養殖



ニジマスの蓄養



水産物加工品のイベント販売

